

10/20 エリアリーダーモデル授業公開 in 岩松小学校

小学校第6学年 理科 古川 裕章 先生

単元名 「私たちの生活と電気」 (大日本図書)



ICT活用のポイント

- ・プログラミング教材を活用して、エネルギー資源の有効利用の観点から、電気を有効利用する方法を考える。
- ・プログラミング的思考を通して、電気の利用についての学びをより確実なものとし、身の回りの生活と学習内容を関連付ける。

学習の流れ 9時間 (本時8/9)

導入

①学習問題をたてる。

活用ポイント
【電子黒板】

電気をより効率的に使うにはどのようにしたらよいだろうか

・これまでに学習したことを基に、人感ライトの仕組みについて話し合う。

展開

②プログラミングの内容を考える。

・暗くなって人が通ったときだけ明かりがつくプログラムを考える。

③実験を行う。

・MESHを使用して、プログラミングを実行したり、修正したりする。

活用ポイント
【MESH】

④互いの回路を見せ合い、結果を話し合う。

まとめ

⑤本時の学習を振り返る。

・本時でプログラミングをしてみたの感想や実験でもっと知りたくなったこと等について書かせる。

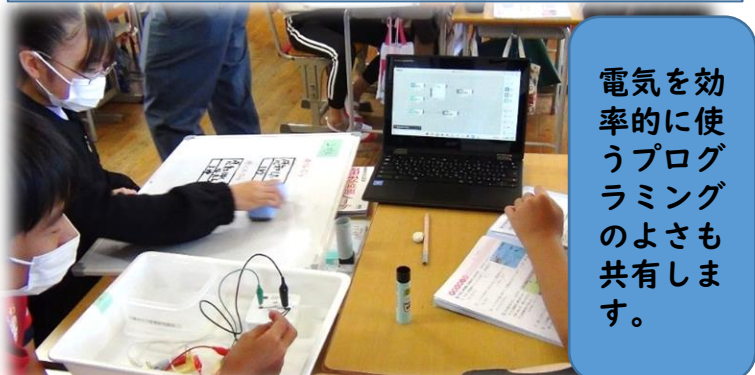
・様々な生活場面で、電気を効率的に使うプログラミングが使われていることに気付かせる。

小学校第6学年 理科「私たちの生活と電気」(大日本図書)

①身の回りには、電気を効率的に使っている物があることに着目する。【電子黒板】



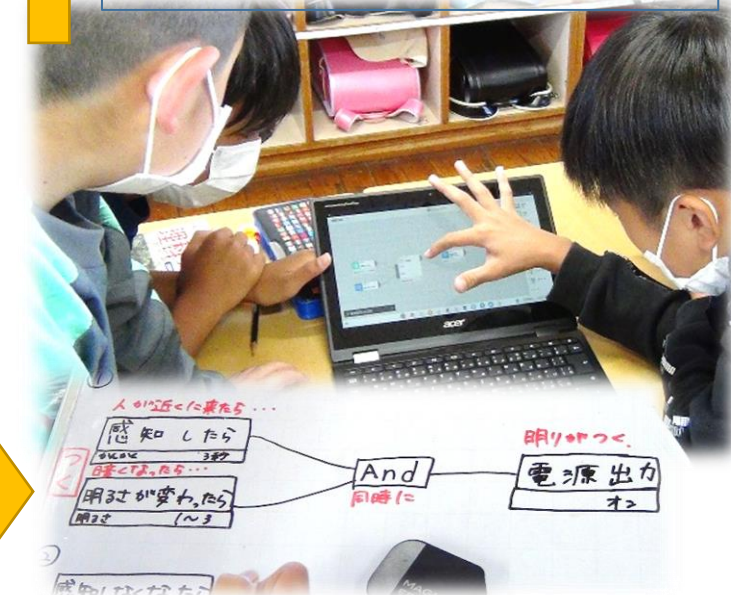
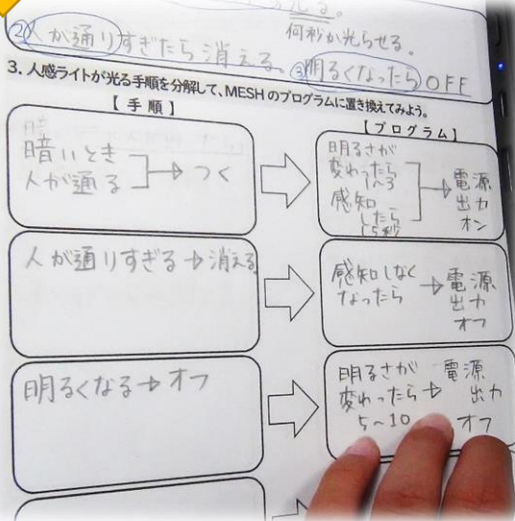
④プログラミングを行ってみて、気付いたことや工夫したことについて話し合う。【MESH】



電気を効率的に使うプログラミングのよさも共有します。

②ワークシートに自分の考えたプログラムをまとめる。

③ワークシートやホワイトボードを基に、プログラミングの内容を考え、実行する。【MESH】



<授業を参観された先生方の声>

- ・ 具体的にプログラミング学習の実際を見せていただきとても参考になりました。
- ・ 自分の学校では、プログラミングをする際に、どこがおかしいのか理解できない児童が多かったです。プリントに、考えをまとめておいてからプログラミングに取り組むという手順は重要だと感じました。
- ・ 各学年の実態に合わせた指導の工夫が必要だと思いました。また、高学年になると指示をしなくても自分たちでどんどん進められるので、そこまで育てることも大切だと思いました。
- ・ 子どもたちが調べたい、やってみたいと思えるような課題提示と活動内容でした。まだ自分はタブレット端末を作業効率の場面でしか使えていないと思うので、今後も研修などを通して色々な使い方に挑戦していきたいです。

※「SAGA Eコネクト」サイトでもたくさんの事例をのせています→

